

キャリア形成促進プログラムの基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
大阪医療技術学園専門学校	平成21年3月1日	磯橋 文秀	〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満2丁目1-30 (電話) 06-6354-2501				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人大阪滋慶学園	昭和62年3月1日	浮舟 邦彦	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1丁目2-43 (電話) 06-6150-1301				
正規課程/履修証明プログラム	分野	プログラムの名称			開設年月日	生徒定員	修業年限・修業期間
正規課程	医療	医療専門課程専攻科			平成7年4月1日	20人	1年
開講時期	前期:4月1日～9月30日 後期:10月1日～3月31日				直近の修了者数※2	修了者のうち就職者数※2	修了者のうち就業者数※2
					12人	12人	0人
プログラムの目的	本格的な超高齢化社会の到来を目前にし、近年、大きな医療制度改革が実施されている。それに伴って、病院内ではIT化の急速な進展および安定的な医療提供の確保に係わる新しい事務系職種が誕生するなど、医療機関を取り巻く環境が著しく変化している。このような業界の変化や新しいニーズに応え、医療現場に従事している社会人のスキルアップや医療業界での就職希望者を支援するため、専門学校および短期大学・大学卒業以上の学歴を有する者に対し、医療事務に関する短期養成を行い、社会に貢献することを目的とする。						
認定年月日※3	平成31年1月17日						
対象とする職業の種類	病院受付/クラーク/医療事務/医療秘書/ドクター秘書/医局秘書/診療情報管理士/医療情報技師/医療マネジメント職 等	身に付けることのできる能力	■身に付けられる知識、技術及び技能 医療事務処理能力に加え、ICD分類や医療情報、統計関連業務、また電子カルテシステム操作など、現代の医療現場で求められている最新の知識・技術を身に付ける。 ■得られる能力 患者様に安心感を与えることのできる、十分なコミュニケーション力・サービス精神を身に付け、病院の最新ニーズに応えることができる医療事務のスペシャリストになる。				
カリキュラム内容	専門学校や短期大学・大学等で学んできたことを踏まえ、医療事務職として診療報酬請求能力の向上をレセプト実務にて修得すると共に、マナー・接遇等において患者対応能力の修得を図る。また、チーム医療を実践するうえで医学知識は不可欠である。この知識を医学用語や臨床医学、人体構造・機能論にて学ぶ。これらの学内にて学んだ知識・技術を実践の場で発揮できるよう学外実務研修や診療情報管理病院実習において現場実習を行う。さらに、選択科目として医療情報分析を行うために必要な知識をAccessなどのプログラミングや統計対策などで修得する。						
総授業時数又は単位数 ※4	2025時間	要件該当授業時数又は単位数 ※4	1770時間	企業等連携授業時数又は単位数 ※4	300時間	要件該当授業時数/総授業時数 ※4	87%
社会人が受講しやすい工夫	■社会人が受講しやすい工夫の内容 (例)休日・週末・夜間の開講、長期休暇時における集中開講、IT活用、経済的支援制度の整備、補講の実施、託児サービスの実施、就職サポート等 学費は1年課程であることから授業料を45万円とし、納入についても分割納入制度がある。合格時に入学金、入学までに教科書・教育教材演習費等の諸経費を納入することで授業料は入学後の9月まで分割でき、社会人の方にも計画立てて学費の準備をしていただける。また、就職については、就職支援を専門に担当するキャリアセンターが、社会人学生一人ひとりの現状や就職希望をヒアリングし、年齢的なことを踏まえて就職可能な求人の紹介や就職サポートを行い、受験できる就職先が少ない場合は、学生の就職希望先を基に求人開拓を行う。さらに、一人ひとりに対して履歴書添削や面接指導を繰り返し行い、就職が決定するまで精神面も含め丁寧に対応する。卒業後もキャリアセンターの利用は可能であり、在学中と同様に転職支援も行う。 ■修了時に付与される資格等: 無 ※右の場合、資格等の詳細を記入						
成績評価の基準・方法	身に付けられる知識、技術及び技能の学習の評価は、各授業でのレポート提出や確認テスト及び各科目の前期・後期の定期試験で評価する。定期試験の評価は、試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合して、優(80点以上)、良(70点～79点)、可(60点～69点)、不可(59点以下)とし、可以上の評価を与えられた者に、単位を認定する。また、学習の評価基準は次のように定める。 【講義科目】 試験素点:70%、出席評価点:20%、平常評価点(レポート、授業態度、ノート等):10% 【実習科目】 実習実技点:70%、出席評価点:20%、平常評価点(授業態度等):10%			プログラム修了要件	所定の授業科目の定期試験において成績評価基準に基づく可以上を取得し、必要な単位を全て取得する。		
当該プログラムホームページURL	http://www.ocmt.ac.jp/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定プログラムにおいては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください。

2. 「直近の修了者数」、「修了者のうち就職者数」、「修了者のうち就業者数」(※2)

「直近の修了者数」、「修了者のうち就職者数」、「修了者のうち就業者数」の欄には、正規課程については公表年月日年度の前年度の実績人数を、履修証明プログラムについては公表年月日の時点において最後に修了者を出した直近の開講時期における実績人数を記入してください。各実績人数は、学校が把握している範囲での数字を記入してください。「修了者のうち就職者数」の欄には、推薦プログラム修了後に推薦プログラムの対象とする職業に就職した受講者数を記入してください。「修了者のうち継続在職者数」の欄には、推薦プログラム受講時に在職していた企業等に推薦プログラム修了時点において引き続き在職した受講者数を記入してください。

3. 認定年月日(※3)

キャリア形成促進プログラムとしての認定年月日を記入してください。初回認定の場合は空欄としてください。

4. 授業時数又は単位数の表記(※4)

推薦プログラムが正規課程で時間制の場合は単位時間数、正規課程で単位制の場合は単位数、履修証明プログラムの場合は時間数を記入してください。

1. 「対象とする職業に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、教育課程編成委員会規程を定め実施する。教育課程の編成において、病院・施設・企業・業界団体等の意見を活かし、必要なる最新の知識・技術を反映させるための連携体制等に学校は努める事を方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校は、教育課程編成委員会の意見を参考に、教育課程の編成にあたる。作成した教育課程は、毎年、学校長の承認のもと、理事会の了承を得る。承認を経た教育課程は教育課程編成委員会に告知する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年6月30日現在

名前	所属	任期	種別
橋本 勝信	学校法人 大阪滋慶学園 常務理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
磯橋 文秀	大阪医療技術学園専門学校 学校長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
中道 真樹	大阪医療技術学園専門学校 事務局次長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
小川 正子	大阪医療技術学園専門学校 教務部長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
松田 貴文	大阪医療技術学園専門学校 医療秘書・情報学科/専攻科学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
重松 康之	大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
飯塚 稔	大阪医療技術学園専門学校 医療心理科学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
駒井 亘	大阪医療技術学園専門学校 薬業科学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
北田 覚	大阪医療技術学園専門学校 鍼灸師学科/鍼灸美容学科学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
奈良 上眞	大阪医療技術学園専門学校 東洋医療技術教員養成学科学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
小川 れい	大阪医療技術学園専門学校 言語聴覚士学科昼間部学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
藤本 光輝	大阪医療技術学園専門学校 言語聴覚士学科夜間部学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	
石本 良之	医療秘書教育全国協議会 事務局長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
西 基之	一般財団法人住友病院 医事室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
天野 博	社会福祉法人協和会加納総合病院 医事課課長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
中林 利克	武庫川女子大学 薬学部薬学科学科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	②
今中 伸行	協和商事株式会社 取締役社長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
田畑 泰弘	大阪府臨床検査技師会 常務理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
樋口 武史	彦根市立病院 臨床検査科科長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
北川 肇	公益社団法人大阪府鍼灸師会 理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
牛島 文享	ウシジマ鍼灸院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
松村 裕基	株式会社プレビッグ 代表取締役(ゆう鍼灸整骨院 院長)	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
西川 洋子	西川洋子鍼灸院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
山口 羊一	奈良県言語聴覚士会 理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
江原 加寿子	高井クリニック 言語聴覚士	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
梶栗 麗子	北大阪病院 言語聴覚士	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
中川 るみ	アミューズメントバリアフリー協会 理事長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
西川 孝	NPO法人 東成精神障害者を支える会 理事長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①推薦プログラムが対象とする職業の属する業界全体の動向に関する知見を有する業界団体等の役職員

②推薦プログラムが対象とする職業に関連する学会や学術機関等の有識者

③推薦プログラムが対象とする職業の実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年7月4日 18:30～20:00

第2回 令和2年1月下旬 18:30～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

医療の情報化に伴って、医療事務職は情報分析能力が必ず必要になってくる。その際にデータベースの知識が必須となる。また、電子カルテの普及に伴って代行入力的重要性が今後増してくると思われるとの意見を頂く。今後、医療情報を取り扱う職員を目指すことを踏まえ、データベース教育や情報処理に関わる内容・教科の指導を強化していく。

2.「対象とする職業に関する企業等と連携して行う授業等その他の実践的な方法による授業等が、別の定めるところにより、総授業時数の一定割合以上を占めていること。」関係

(1)企業等と連携して行う授業における連携の基本方針
 スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識・技術を教授し、学生一人一人の個性を最大限に活かしながらそれぞれの業界で力を発揮できるような教育システムを構築して、人に感動を与え、ビジネスマインドに富んだ仕事ができる人材を各業界との連携のもと養成することを基本方針とする。

(2)企業等と連携して行う授業における連携内容
 ※授業内容は方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 「医療情報学」は、連携企業と事前打ち合わせや授業ごとの確認と振り返りを行う。15回の授業終了後、企業担当者による評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。また、「学外実務研修」「診療情報管理病院実習」は、実習を依頼する病院で病院の窓口業務やクラーク業務、医師事務作業補助業務、診療情報管理業務などを実施する。実施期間は2週間～4週間である。実習による評価は、実習担当者への聞き取り評価及び、書面による5段階評価用紙にて行っている。評価内容は、コミュニケーション力や、積極性、作業の正確さなどとなっている。

(3)実践的な方法による授業のうち、企業等と連携して行う授業の具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について

科目名	科目概要	連携企業等
医療情報学	各部門における医療システムの概要を学ぶ	株式会社 エスエスサポート
学外実務研修	医事・医療・秘書の基礎的知識を医療の現場で応用させ、実践的知識・技能を身につける。	草津総合病院、北摂総合病院、守口敬仁会病院、大阪急性期・総合医療センター、清恵会病院
診療情報管理病院実習	カルテ管理、診療記録、医療・医事統計など診療情報管理士の実業務を実習する。	草津総合病院、北摂総合病院、守口敬仁会病院、大阪急性期・総合医療センター、清恵会病院

3.「企業等と連携して、教員に対し、対象とする職業に係る実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦プログラムの教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規定に定められていることを明記。
 研修等は、学校法人大阪滋慶学園として、教員研修規程を定め実施する。教員の研修は計画を立て行い、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させると共に、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上をさせるために行う。

(2)研修等の実績
 ①推薦プログラムが対象とする職業に係る実務に関する研修等
 研修名「医療・福祉マネジメントセミナー」(連携企業等:滋慶医療科学大学院大学・滋慶医療経営管理研究センター)
 期間:平成30年9月22日(土) 対象:専任教員
 内容:事例から学ぶ管理者の事故対応
 ②指導力の修得・向上のための研修等
 研修名「医事コンピュータ検定 指導研修」(連携企業等:医療秘書全国協議会)
 期間:平成30年5月20日(日) 対象:医療秘書教員
 内容:医療専門課程専攻科で取得を目指す医事コンピュータ検定における最新の傾向と対策の勉強会が行われる。勉強会では対策指導だけでなく、診療報酬請求における実技面でパソコン操作を苦手とする学生の指導方法についても研修が行われる。これらの研修を踏まえて専攻特論などの資格検定対策授業の指導力の質を向上させる。

(3)研修等の計画
 ①推薦プログラムが対象とする職業に係る実務に関する研修等
 研修名「2019年度 医療安全管理者養成講習会」(連携企業等:日本病院会)
 期間:令和元年9月13日(金)～14日(土) 対象:専任教員
 内容:病院における安全確保を構築するために必要な幅広い最新の知識と技術の習得を行う。
 ②指導力の修得・向上のための研修等
 研修名「第45回学会」(連携企業等:日本診療情報管理学会)
 期間:令和元年9月19日(木)・20日(金) 対象:専任教員
 内容:診療情報管理に関する学会発表に参加、病院における情報管理の実情を理解し、教育内容に反映する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条の規定による評価を行い、その結果を公表していること。」「評価を行うに当たり、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、学校関係者評価委員会規程を定め実施する。評価委員会は、自己点検・自己評価の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像は定められているか 等
(2) 学校運営	運営方針は定められているか 等
(3) 教育活動	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材
(4) 学修成果	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られて
(5) 学生支援	就職に関する体制は整備されているか
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行われているか 等
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 等
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 等
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 等
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

※推薦プログラムの教育効果等に対する学校関係者評価の活用状況を具体的に明記
 病院の医事部門の職員採用について、派遣から正職員へ切り替える病院や大学生の限定雇用から専門学校生への雇用を拡大する病院が増えており、専門教育の強化を意見としていただいた。本学科としても、医療事務業務に関わる専門教育の質の向上と医療情報の取り扱いに対する教育に力を入れていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年6月30日現在

名前	所属	任期	種別
西 基之	一般財団法人住友病院 医事室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
今中 伸行	株式会社協和商事 取締役社長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
牛島 文享	ウシジマ鍼灸院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
田畑 泰弘	大阪府臨床検査技師会 常務理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
山口 羊一	奈良県言語聴覚士会 理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
西川 孝	NPO法人 東成精神障害者を支える会 理事長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
久徳 健三	大阪市北区堀川連合振興町会 会長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	地域
近田 直人	こんだ直人教育研究所代表(元平野高校教	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	高等学校
野入 英治	卒業生	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	卒業生
采井 章浩	卒業生	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	卒業生
藤本 知恵	保護者	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
 URL: <http://www.ocmt.ac.jp/> 毎年6月末公開予定

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校法人大阪滋慶学園として、情報公開規程を定め実施する。学校が保有する情報の公開及び開示に関し必要な事項を定め、当該情報を積極的に公開することにより、学園の教育活動や取り組みについて広く社会に対する説明責任を果たすとともに、公正で透明性の高い運営を推進し、教育活動の改善や社会全体からの信頼の獲得に資することを方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の沿革 等
(2) 各学科等の教育	各学科の教科目標 等
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援の取り組み 等
(5) 様々な教育活動・教育環境	サポートシステム 等
(6) 学生の生活支援	学生マンション 等
(7) 学生納付金・修学支援	納付金 等
(8) 学校の財務	財務状況 等
(9) 学校評価	自己点検・自己評価 等
(10) 国際連携の状況	国際教育の取り組み 等
(11) その他	社会学連携 等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
 URL: <http://www.ocmt.ac.jp/>

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数/単位数	授業方法			実践的授業方法の種別			
必修	選択必修	自由選択				講義	演習	実験・実習・実技	企業連携	グループワーク	実務家授業	インターンシップ
	○		コンピュータベーシック	ワード・エクセル・パワーポイントなど、一般社会で頻りに用いられているオフィスソフトの操作技術を習得。	60		○				○	
	○		情報処理技術	病院IT化に伴い、医療情報システム運営管理現場の日常業務を担当するために必要となっている情報処理に関する知識と技術力を習得する。	60	○					○	
	○		医事コンピュータ演習	診療行為の算定をコンピュータで処理する方法、オペレータ業務の実習を行う。	120		○				○	
	○		ホスピタリティ論	コミュニケーションの基本である自己表現能力（プレゼンテーション）を高めるとともに、語彙力の向上を目指す。	30	○					○	
○			マナー・接遇	社会人として、医療秘書としてのマナーを学び、患者接遇に生かす。	30		○			○		
	○		秘書実務	秘書業務の基本を習得する事を第一の目的とし、各自の実務能力の向上を図る。	60		○				○	
	○		医療秘書実務	患者受付、接遇、電話対応など医療秘書としての実業務を習得する。	30	○				○		
	○		病院管理学	病院の成り立ち、目的と機能、各部門の業務内容を学ぶとともに、病院の組織・運営について学習する。	60	○						
○			公費負担医療制度	ある特定の疾患に罹患している者等の医療費の全部または一部を国や地方自治体が負担する制度についての学習。	30	○					○	
	○		医療関連法規	医療分野の仕事に従事する上で、必要不可欠な法規を具体的に学ぶ。	30	○					○	
○			人体構造・機能論	人体の基本的仕組みを系統的に理解し、その働きを学び生命の「いとなみ」の基本を理解する。	30	○					○	
	○		臨床医学各論V	呼吸器・循環器系の疾患について学ぶ。	30	○					○	
○			レセプト実務	医療行為の点数算定と請求明細書作成の知識と技能を習得する。	240		○				○	
	○		医療秘書検定対策	医療秘書検定合格を目標とした講座。	90	○					○	
	○		秘書検定対策	秘書検定の合格を目指して対策授業を行う。	30	○					○	
	○		医療事務概論	医療事務員としての基礎知識や患者対応の実際を学ぶ。	30	○					○	
	○		専攻特論	医療秘書、クラーク業務における資格検定の総合サポート。	30	○					○	
○			医学用語	医療秘書として必要な医学の現場で用いられている用語を学び、カルテの読解を可能にする。	30	○					○	

○		臨床医学	医療秘書業務を行ううえで、基本的な知識を学ぶ。	15	○						○
○		臨床医学概論	医学の歴史、医の倫理、社会保障制度、医療の状況・問題点など、医療の基礎について学ぶ。	15	○						○
○		臨床医学総論	疾病の原因・診断・治療法などについて学ぶ。先天性疾患、外因性傷病等含む。	15	○						○
○		レセプト実務Ⅲ	高度な内容のレセプト作成やレセプト請求の点検業務が確実にできることを目的とする。	30		○					○
○		医療管理総論	わが国の医療提供システムや医療保険制度を理解する。	15	○						
○		Access演習	関数の利用、アクションクエリの作成、メイン・サブフォームやメイン・サブレポートの作成など実用的なデータベースを構築する方法を学ぶ。	60		○					
○		診療情報管理士認定試験対策Ⅱ	診療情報管理士認定試験（基礎課程）合格を目標とする総合的な学習。	180	○						○
○		診療情報管理士認定試験対策Ⅲ	診療情報管理士認定試験（専門課程）合格を目標とする総合的な学習。	120	○						○
○		診療情報管理士認定試験対策Ⅳ	診療情報管理士認定試験（分類法）合格を目標とする総合的な学習。	60		○					○
○		認定試験学習	認定試験の総合合格対策を行う。	120	○						
○		医療情報学	各部門における医療システムの概要を学ぶ。	30	○				○		
○		統計対策	統計分野の認定試験対策のまとめを行う。	15	○						○
○		学外実務研修	医事・医療・秘書の基礎的知識を医療の現場で応用させ、実践的知識・技能を身につける。	180				○	△		○
○		診療情報管理病院実習	カルテ管理、診療記録、医療・医事統計など診療情報管理士の実業務を実習する。	90				○	△		○
○		医療経営概論	医療経営の基礎知識を学ぶ。	30	○						○
○		課題研究	診療情報管理に関する課題研究を行う。	30		○				○	
合計授業時数/単位数				要件該当授業時数/単位数							
2025				1770							

（留意事項）

- 申請するプログラムで受講可能な全ての科目について記入すること。
- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について「○」を付し、その他の方法について「△」を付すこと。
- 一の授業科目について、企業連携、グループワーク、実務家授業、インターンシップのうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について「○」を付し、その他の方法について「△」を付すこと。
- 実践的授業方法の種別については、実施要項の3（6）の①～④の要件に該当する授業科目について○又は△を付すこと。
- 授業時数/単位数については、推薦プログラムが正規課程で時間制の場合は単位時間数、正規課程で単位制の場合は単位数、履修証明プログラムの場合は時間数を記入してください。
- 合計授業時数/単位数については、受講者が受講可能な全ての科目（必修・選択必修・自由選択を問わない）の合計単位時間数等を記入すること。
- 要件該当授業時数/単位数については、企業連携、グループワーク、実務家授業、インターンシップのいずれかに該当する科目の合計単位時間数等を記入すること。